

子どもたちのハートをわしづかみ！ 現役の男性保育者コンビによる歌遊びユニット「カツリキ」が東松山の暮らしを“パパ目線”で紹介。

カツ「自然いっぱい東松山には、動物や植物、昆虫などを見たり触れたりできる環境がまだまだ多く残っています。子どもの頃からこの地で育った僕にとって、今の歌づくりのインスピレーションも、豊かな自然から受けていると感じています。昔から変わらな

進歩し続けて  
ますます豊かに便利に

結婚を機に移住  
今はすっかり東松山人  
リキオ「僕たちが勤務しているひさみ幼稚園は、園児290人。きょうだいのいる家庭が多いですね。子ども3人は当たり前。子育てしやすい街という事なんです。園のオーブンデーに卒園生が多く集まるのもこの街が好きだからだと思います。人と人とのつながりがいい感じで循環しているのを感じますね。東松山で暮らすようになって、家庭菜園を始めました。趣味の魚釣りは近くの川や、道路が整備されてアクセスが便利になったので、海まで行くことも。早寝、早起き、朝ごはんが実践できてプライベートも充実。人間らしい生活を送っています(笑)」

Profile  
カツリキ

カツさん ※メイン写真左  
本名: 峯 克政 (みねかつまさ)  
作詞担当。ひさみ幼稚園副園長。東京家政大学講師。3児のパパ。生まれも育ちも東松山市

リキオさん ※メイン写真右  
本名: 岡田力雄 (おかだりきお)  
作曲担当。ひさみ幼稚園学年主任。2児のパパ。山形県出身。結婚を機に東松山市へ



カツリキの歌遊びは子どもたちに大人気！ 保育雑誌に「うたあそび」を連載しているほか、全国各地の保育イベントに出演中

い良さも多いのですが、最近ではショッピングモールや、化石と自然の体験館など色々な施設ができて、暮らしやすさや楽しさが話題になっていますね。知り合いの中には、家族ができて東松山にUターンしてきたという話も聞きます。都心への通勤も便利です。東松山市を漢字一文字で表すとしたら、歩。日本スリーデーマーチの「歩」と「進歩」している街というイメージです」



豊かな自然をわいっぱい感じながら  
家族みんなが  
自分らしく暮らせる街

カツリキ  
Katsuriki

ヒガシマツヤマヒト  
東松山人  
Interview

東松山市在住の2組の方に「東松山ライフ」の魅力をお話してもらいました。

東松山は虹色の街  
いろいろな色で  
あふれています



絵子猫  
Econeco

Profile

絵子猫 (エコネコ)

イラストレーター。3児のママ。東松山市応援団員。大手企業広告や雑誌の挿し絵などを多く手がける。毎日SNSを更新 (Twitter、Instagram、Facebook、アメブロ)

見ているだけでハッピーな気持ちになれる、キュートでファンシーな世界を描くイラストレーター絵子猫さん。アーティストとして、ママとして過ごす東松山ライフとは？

「10年前に4世代・家族8人で東京から東松山市に移住してきました。実は東京で仕事をしていた時は、体も心も窮屈さを感じていました。引っ越してからは、空気のおいしさに日々感激。地元の人にとっては当たり前のことが、私には最高のリフレッシュになっているんですね。仕事柄、車で都内へ打ち合わせに行くことが多いのですが、高速道路を使えば新宿まで1時間程度で行けることも魅力です」

暮らし始めて得た  
自分のテイスト

「東松山に暮らし始めて、絵のテイストが変わった事に自分でも驚いています。それまで黒をテーマにクールな画風だったのが、パステル調の動物のイラストを描くようになったのですから。子育てハンドブックの作成などにも関わらせてもらい、幸せな生活のお手伝いをする仕事もできて楽しいですね。四季があり、自然いっぱい東松山はいろいろな色にあふれる街。今まで雨上がりに大きな虹をたくさん見ました。そんなステキな景色も私に幸せな絵を描かせてくれる要因なのかな」

自分の「ちよっどいい」が見つかる場所

「子どもたちがイキイキとした表情で遊んでいる姿を見ると、移住してきてよかったと実感します。川遊び、BBQ、虫捕り…。子どもたちはもちろん、私も確実にたくましくなっていますよ(笑)。都内ほどドライブが、田舎ほどべったりしない人づきあいも私にぴったり。自分の「ちよっどいい」が見つかる場所。それが東松山だったんです」



「子育てハンドブック」(写真右)のデザイン、子育て支援課カウンターの壁紙デザインなど、市の制作物にも積極的に関わっています。出産の記録を1枚の絵に残せる「マジカルベビー」(写真左)は、ふるさと納税のお礼の品としてもラインナップ